

## 蓮田市パブリックコメント制度に関する要綱

(平成18年蓮田市要綱第20号)

(目的)

第1条 この要綱は、蓮田市のパブリックコメント制度に関し必要な事項を定め、市の基本的な施策に関する計画等を策定する過程における公正の確保と透明性の向上を図るとともに、市民との協働による開かれた市政を推進することを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱において、パブリックコメント制度とは、市の基本的な施策に関する計画及び条例(以下「計画等」という)を策定する過程において、その計画等の趣旨、目的、内容等の必要な事項を広く公表し、市民等から意見を求める一連の手続をいう。

2 この要綱における「実施機関」とは、市長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、水道事業及び下水道事業の管理者の権限を行う市長をいう。

3 この要綱において、「市民等」とは、次に掲げるものをいう。

- (1) 市内に住所を有する者
- (2) 市内に事務所又は事業所を有する個人及び法人その他の団体
- (3) 市内の事務所又は事業所等に勤務する者
- (4) 市内の学校に在学する者
- (5) 前各号に掲げる者のほか、パブリックコメント制度に係る事案に利害関係を有する者

(対象となる計画等)

第3条 パブリックコメント制度の対象となる計画等は、次に掲げるとおりとする。ただし、パブリックコメント制度と同様の手続を実施するもの、実施機関に裁量の余地がないもの、迅速性又は緊急性を要するもの及び軽微なものは除く。

- (1) 市の基本的な政策に関する計画、個別行政分野における施策の基本方針その他基本的事項を定める計画の策定又は改定
- (2) 市の基本的な制度を定める条例の制定又は改廃
- (3) 市民等に義務を課し、又はその権利を制限する内容を含む条例(金銭徴収に関するものを除く。)の制定又は改廃

(計画等の案の公表等)

第4条 実施機関は、計画等の策定をしようとするときは、最終的な意思決定を

行う前に、その計画等の案を公表しなければならない。

2 実施機関は、前項の規定により計画等の案を公表するときは、併せて次に掲げる資料を公表するよう努めるものとする。

- (1) 計画等の趣旨及び目的並びに計画等の案を作成した経緯
- (2) 計画等の案を立案する際に整理した実施機関の考え方及び論点
- (3) 市民等が計画等の案を理解するために必要な関連資料

3 前2項の規定による公表は、実施機関が指定する場所での閲覧及び配布並びに市のホームページへの掲載により行うものとする。

(意見等の提出)

第5条 実施機関は、計画等の案及び前条第2項各号に掲げる資料の公表の日から1か月の期間を設けて、計画等の案についての意見等の提出を求めなければならない。ただし、1か月の期間を設けることができないときは、当該期間を短縮することができる。

2 前項の意見等の提出方法は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 実施機関が指定する場所への書面の持参
- (2) 郵便
- (3) ファクシミリ
- (4) 電子メール
- (5) 前各号に掲げるもののほか、実施機関が必要と認める方法

3 実施機関は、市民等に対し意見の提出を求めるときは、意見を提出する者の住所及び氏名（市民等が法人その他の団体である場合にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）を明記させるものとする。

(提出された意見等の考慮等)

第6条 実施機関は、前条の規定により提出された意見等を考慮し意思決定を行うものとする。

2 実施機関は、前項の意思決定を行ったときは、意思決定後の計画等、提出された意見及びこれに対する実施機関の考え方並びに案を修正したときはその修正内容を公表するものとする。

3 提出された意見のうち、公表することにより個人又は法人の権利その他正当な利益を害するおそれのあるものについては、その全部又は一部を公表しないことができる。

4 第2項の規定による公表の方法については、第4条第3項の規定を準用する。

(一覧表の作成等)

第7条 市長は、この要綱に定める手続を行っている案件の一覧表を作成し、市のホームページへの掲載等の方法により公表するものとする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行の際現に策定に着手している計画等については、この要綱の規定は適用しない。

附 則

この要綱は、令和4年1月4日から施行する。